

# 「令和8年度 つなげ！生物多様性 高校生チャレンジシップ開催事業」仕様書

## 1 業務の名称

令和8年度 つなげ！生物多様性 高校生チャレンジシップ開催事業

## 2 業務委託の目的

人のいのちと暮らしを支えている生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたって享受するには、生物多様性の恩恵を受ける社会全体で生物多様性の意義を理解し、守るための行動をしていく必要がある。そのため、これまで取り組んできた活動を継続、発展させていくための新たな担い手の育成、確保が重要な要素となる。

そこで、「第2次生物多様性えひめ戦略」の推進テーマ「伝えていこう！生きものの恵みと愛媛の暮らし」に基づき、生物多様性の保全や普及を志す若者を育成するための場を提供し、現在、精力的に生物多様性を研究する若者の活動に脚光を当て、モチベーションを高揚させるとともに、若者が実践する活動を広く県下に周知することにより、オール愛媛で本県の豊かな生物多様性を次代に繋いでいく機運の醸成を図る。

については、本事業の企画運営等に係る業務を委託する。

## 3 業務期間

契約締結日～令和9年3月12日(金)

## 4 業務の実施方針

本業務の目的及び以下の内容を十分に考慮すること。

### 【業務の構成】

本業務の内容は「基調講演、研究発表会及び交流学習会」、「生物多様性普及啓発」とする。

### 【基調講演】

生物多様性の恩恵を受ける社会全体で生物多様性の意義を理解し、守るための行動に繋がる内容とする。

### 【研究発表会及び交流学習会】

- (1) 県内外の高校生による生物多様性保全等に関する活動に脚光を当て、若者の活動を幅広い世代の県民及び生物多様性に深い関わりをもつ農林水産業、商工業等の団体、事業者に周知することにより生物多様性の重要性を普及する。
- (2) 生物多様性の保全等に係る活動を行っている学校等の取組継続への応援や、参加した高校生が互いに影響を受け、行動を起こすことにつながるような内容とすること。
- (3) 高校生が実践する生物多様性の恵みを活用した商品開発などを紹介し、身近な生物多様性への気付きを促すとともに、生物多様性がヒトの生活だけでなく社会や経済の安定に寄与していることについての周知が図られる内容とすること。
- (4) 参加した県内外高校生同士の交流を深め、将来にわたり生物多様性に配慮した行動が継続するような内容とすること。
- (5) 参加者、観覧者が五感で感じる内容とし、イベント全体の賑わいの創出を図る。

## 【生物多様性普及啓発事業】

愛媛県内の高校生を中心とした県民に生物多様性の理解促進等につながる広報事業等を行うこと。

## 5 業務内容

「令和8年度 つなげ！生物多様性 高校生チャレンジシップ」の企画運営

### (1) 基調講演、研究発表及び交流学习会

業務： 基調講演、研究発表会及び交流学习会の企画・運営、会場配置計画作成、会場の設営・撤去、出演者、研究発表高校との連絡調整、ステージ司会、会場の進行管理、進行台本作成、出演者及び県内外研究発表高校への経費の支払など

事業の目的を踏まえ、生物多様性のためのMY行動宣言（国連生物多様性の10年日本委員会）【1 たべよう】【2 ふれよう】【3 つたえよう】【4 まもろう】【5 えらぼう】に即した事業内容とし、業務内容は、次の③～⑧に区分する。

実施にあたっては、民間事業者の有する知識やノウハウを活かして、若者の実践する生物多様性に配慮した活動に脚光を当てるとともに、暮らしや産業等が生物多様性に支えられていることを参加者等が認識し、生物多様性の保全につながる行動を起こしていくような工夫や集客方法とすること。

① 事業実施日：令和8年8月21日（金）～8月22日（土）（予定）

（研究活動発表に参加する県内外高校生は一泊二日を基本とし、オンライン開催を併用する）

② 実施場所：[1日目] 官民共創拠点「E:N BASE」（愛媛県庁第二別館1階）（予定）  
（別紙参照）

[2日目] 生物多様性上重要な里地里山、干潟（松山市近隣）等

③ ステージ企画（1日目）

- ・ 開会あいさつ
- ・ 基調講演
- ・ 高校生によるえひめの生物多様性調査研究発表会（県内発表高校は県が選定する。）
- ・ 研究発表審査（審査員は県が選定する。）
- ・ 最優秀賞（知事賞）、優秀賞の賞状筆耕及び副賞
- ・ 県外高校生による生物多様性保全活動事例紹介（県外参加高校は県が選定する。）
- ・ 司会進行のほか、審査会の運営および審査待ち時間中のつなぎとして来場者向けステージイベントなどを行う。
- ・ 基調講演講師及び県内外高校への経費（講師謝金、旅費等）の支払い

（参考）R7年度実績

県内高校：参加7校、発表10グループ、生徒44名、引率教員8名

県外高校：3校（京都府、奈良県、岡山県）、生徒10名、引率教員4名

④ ホール企画（1日目）

- ・ 県内高校の保全等活動、生物多様性標本等の展示
- ・ 高校生が開発した生物多様性の恵みを活用した商品の展示・試食

- ・ 来場者アンケート等の実施及び取りまとめ  
(イベント当日回収し、集計結果を実績報告にあわせて提出する。)
  - ・ ホール企画参加者への経費(需用費、旅費)の支払い
- ⑤ 交流学习会企画(2日目)
- ・ 生物多様性上重要な里地里山、干潟等において、県内の野生生物の生息環境の現状について学ぶ機会を設ける。
  - ・ 生物多様性の保全や普及に向けた活動を推進していくうえでの問題や展望等についてのワークショップ等を開催し、アドバイザーからの示唆を受けながら、高校生に気づきと学びの場を提供する(アドバイザーは県と協議の上決定する)。
- ⑥ 広報ツール等の制作等
- ア 広報ツールの制作
- 本事業の開催告知に係る効果的な広報ツール(チラシ、ポスター、キービジュアル等)を、県と協議の上制作(デザイン、印刷)、活用する。
- イ イベント当日プログラム及びパンフレットの制作
- 制作・印刷・製本、成果物納入  
仕様等：印刷物(来場見込み数に50部追加した数以上)
- ウ 大会記録の制作
- 制作・印刷・製本、県内高校等へ成果物納入  
仕様等：印刷物(A4両面4色刷り、20ページ程度)450部
- エ 看板等
- 各会場、各コーナーの設置に係る吊看板など必要分
- ・ 看板等の作成、会場への設置、撤去
- ⑦ 留意事項
- ・ 上記③～⑥の実施は基本とする。これ以外に事業効果のある内容があれば併せて提案すること。
  - ・ イベントタイムスケジュールを示すこと。
- ⑧ その他
- ・ 県外高校の参加しやすさ向上を図るために、会場と現地参加できない県外参加高校等をオンラインで結び開催する。

## (2) 生物多様性普及啓発事業

愛媛県内の高校生を中心とした県民における生物多様性の認知度を高め、本県の豊かな生物多様性を次代に繋いでいく機運醸成を図ることとし、実施にあたっては、民間事業者の有する知識やノウハウを活かして実施する。啓発普及の方法について、SNSや動画配信、小イベント実施等の活用を検討する。

(例) SNSや広報誌等を自由に活用した通年での生物多様性の普及啓発の実施 等

## 6 開催場所

### (1) 基調講演、研究発表

基調講演、研究発表は、使用会場の「ステージ」「ステージ付帯施設」ほか、会場施設管理者が使用を認めたエリアで効果的に実施すること。会場使用の振り分けは上記内容を踏まえて、参加者の動線等を考慮して会場内ブースの割り振りを行うこと。

### (2) 交流学習会

交流学習会は、生物多様性上重要な里地里山、干潟等において、県内の生物多様性を五感で感じる場所等を選定し効果的に実施すること。

## 7 成果目標

基調講演、研究発表及び交流学習会の来場者数の目標値とその考え方を示すこと。

## 8 事業の実施体制及び業務行程（スケジュール）

実施体制及びスケジュールを示すこと。

(1) 実施体制：責任者及びスタッフの氏名及び役職と本事業での役割

(2) 業務行程：契約からイベント内容までの大まかなスケジュール

## 9 成果品の提出

事業開始前の事業計画書や事業完了後に実績報告書等を提出すること。当該報告書には、事業を実施したことがわかる写真等を添付すること。